

郡山光風学園の今後の運営について

こども未来局 児童家庭課

1. 施設概要

郡山光風学園：福祉型障害児入所施設（主たる対象：ろうあ児）
入所定員：20人（令和2年2月1日現在：入所1人）
職員数（専門員・臨時除く）13【事務：5、福祉：3、保育：3、看護2】
施設建築年月：昭和49年6月（築45年）

2. 方針

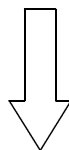
①令和3年度から入所児童がゼロとなる見込み

・入所児童1人（聴覚支援学校高等部2年）が令和2年度末退所。

②令和2年度以降の新規入所児童の見込みなし

理由1：乳幼児検診精度の向上や、新生児聴覚検査による早期発見、早期療育等の結果、家庭や聴覚支援学校の寄宿舎利用での生活・修学が可能となったため。

理由2：郡山光風学園の入所児童は、知的等と聴覚の重複障がいをもつ入所者がほとんどであり、知的障がい児向けの福祉型障害児入所施設（県内8施設）での対応が可能であるため。



令和3年度から施設休止としたい

3. 令和2年度の対応

- 日中一時支援（放課後、保護者が迎えに来るまでの間の一時預かり）の利用者がいるため、市町村等の関係機関と調整し、他の日中一時支援事業所へ利用移行を図る。
- 令和2年度中に、社会福祉審議会児童福祉専門分科会において、施設のあり方について検討する。